
小さくなった恋物語

AKATUKI

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小さくなった恋物語

【Nコード】

N8663S

【作者名】

AKATUKI

【あらすじ】

第3次世界大戦終了後平和になった学園都市そしてこの世界では、上条当麻は、すっかり帰ってきた。そして体が小さくなる事件が発生被害者は、上条・御坂・一方通行・番外固体・麦野・浜面だった。そして今小さくなった恋物語が始まる。

不幸の始まり（前書き）

頑張ります。

不幸の始まり

上条 side

朝第3次世界大戦が終わり平和になった学園都市インデックスは、イギリスに帰り食費も楽になった。しかし最近もややもやしている。御坂美琴についてだ。この間の戦争に勝ったそしてみんな喜んだはずだった。だが彼女だけは、違った俺の目の前で泣いていた。それから全然会話せずに帰ってきてしまい。ずっと心がもやもやしている。なぜかそれがずきずきしてつらかった。そして今緊急事態が発生した。そうなぜか体が縮んでいたのだ。

「不幸だ」

自分の身長は、今150CMぐらいだ声も少し高くどう見てもおかしかった。

「何なんですかこの不幸は、畜生今は、ほかの事で忙しいのにまさかこれは、新手の魔術ですかそしたら土御門だあいつに相談しよう」
そういつて携帯を取り出す。しかし

「ただいま電話の出来ないところにいるか電源の」

「不幸だー畜生俺は、いったい誰に頼れば……御坂」

そういつて御坂にかけようとする。しかし手がとまってしまふ。しかし

「……！」プルプル

画面には御坂美琴とゆう名が写った

「御坂どうした」

「たすけて当麻お願い」

「……」

「今追われてるの」

「どこにいるんだ御坂」

「今いつもの公園だから速くキャー」プッ

「御坂・御坂くそ」

上条当麻は、はしりだしていった

御坂side

彼女も最近悩んでいたそう上条当麻についてだ。彼には、絶対能力計画の時に助けてもらったりして命の恩人だった。でもそれ以上でもそれ以下でもないと思っていたしかし彼が22学区でボロボロで歩いてた時に知ってしまった。そう恋とゆう感情をそして彼が暗部組織に狙われていると知りロシアまで助けにいったしかし彼は、救出を拒んだそう「まだやることがあるとって」そして彼を失ったと思ったが彼は、帰ってきたそしてみんな笑っていたしかし自分は笑えなかった。なぜか悲しかったのだそして思い切り泣いてしまった彼は、多分自分の姿を見て多分こう思うだろう自分が泣かせてしまったとそれをすぐに否定したかったしかしできなかった。そうして時は、過ぎていった多分彼は、避けているだろうまた泣かしてしまうと思うてしかし御坂は、思う彼に会えないのが一番苦しいとして朝起きると体が縮んでいた。

「ななんで体が縮んでるのよ」

「黒子あれいないの」

「どうしよう」

すぐ彼のことを考えたが首を横に振る。

「能力は、一応使えるわねでもちよつと弱くなっている気がする」

そして寮の外に出てみたしかしなぜか誰もいない

「君がレールガンかい」

「誰アンタ」

「ローマ政教そしてきみを人質として捕まえに来た」

「そう簡単にやれるかしら」バチバチ

「無駄さ君らは、学園都市とローマ政教に狙われているそして君らは、体が小さくなった君らじゃ僕らに勝てない」

「く」

「逃げるのかい」

「どこに逃げれば」

しかし後ろから

「きゃ」

氷の固まり飛んできた

「惜しい」

「くそ」バチバチ

「くくく効かないよ」

そんなことをしてるうちに彼といつも会う公園に着いた彼女は、隠れたそして自分のヒーローに想い人に電話した。

上条side

「くそくそ御坂無事でいてくれ」

上条は、走るそして彼は、いつもの公園に着いた上条は、気がついた人のいないことに

御坂side

「もう鬼ごっこも終わりだ」

「死ね」

「御坂」

彼の声が聞こえいつもの幻想が壊れる音

「当麻」

「「え」」

「御坂さんあなたさんまで縮んでしまったのですか」

「アンタも」

「不幸だ（だわ）」

「君たちは、僕達が小さくした」

「お前は、魔術師か」

「ローマ政教」

「お前らが俺らを狙う理由は、」

「僕達は、君たちだけを狙ってるわけじゃない」

「一方通行・番外固体・浜面仕上・麦野沈利」

「科学側の人間をなぜ」

「彼女には、言った学園都市とローマ政教は、手を組んだと」

不幸の始まり（後書き）

頑張りました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8663s/>

小さくなった恋物語

2011年10月8日18時42分発行